2 千葉県内のオリンピック競技会場と開催競技

千葉県内では、幕張メッセ(千葉市)でフェンシング、テコンドー、レスリングの3競技が、釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ(一宮町)でオリンピック史上初となるサーフィン競技が行われた。

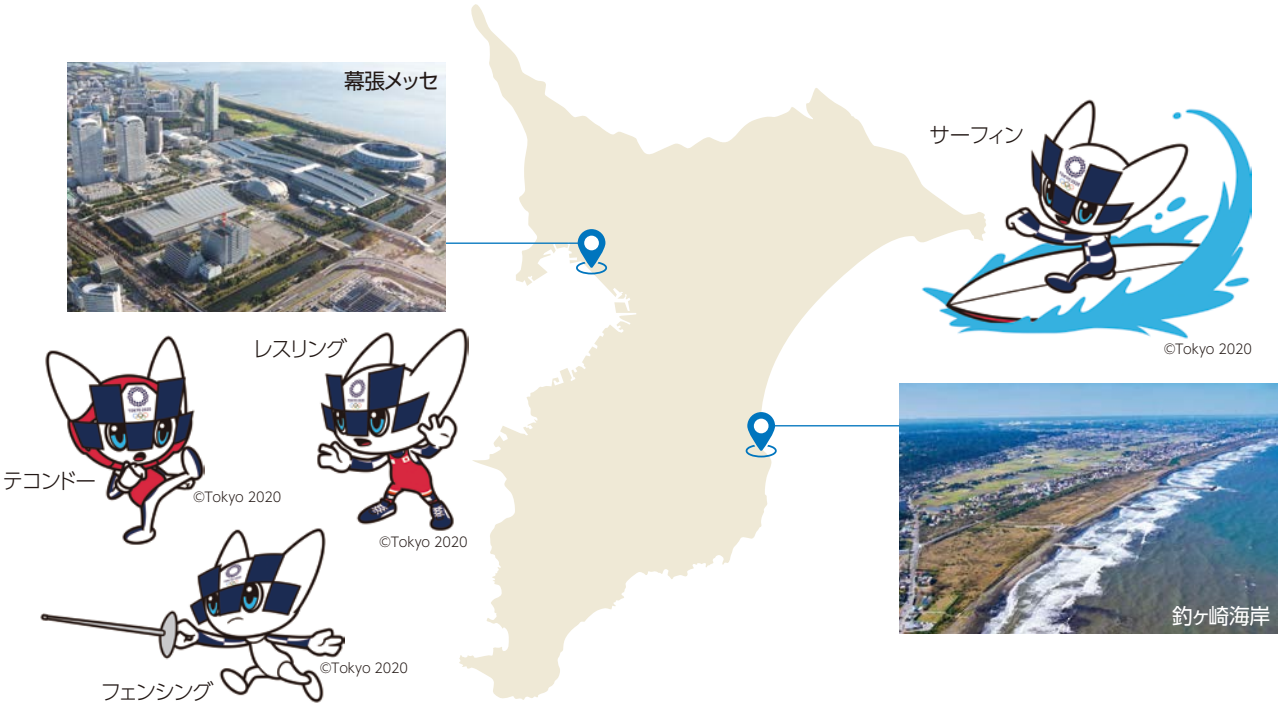
県内会場の競技日程

●幕張メッセ会場

フェンシング：7月24日(土)～8月 1日(日)　Bホール(国際展示場9～11ホール)
テコンドー：7月24日(土)～7月27日(火)　Aホール(国際展示場1～8ホール)
レスリング：8月 1日(日)～8月 7日(土)　Aホール(国際展示場1～8ホール)

●釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ

サーフィン：7月25日(日)～7月27日(火)



県内開催競技の紹介

フェンシング

ピストと呼ばれる長方形の試合場の中で2人が互いに向き合い、剣を用いて攻撃または防御を行う。使用する剣と防具には電気回路が埋め込まれており、攻撃が成功するとランプが点灯する。「フルーレ」「エペ」「サーブル」の3種目がある。

写真:アフロスポーツ

レスリング

直径9mの円形のマット上で、2人の競技者が素手で攻防し、相手の両肩を1秒以上マットにつけるフォールや技を決めたポイントで勝負が決まる。上半身のみで攻防を行う「グレコローマンスタイル」と、全身を攻防に使える「フリースタイル」がある。

写真:フォート・キシモト

テコンドー

手と足を使って攻撃をすることができ、足を使った攻撃が特徴的な競技。攻撃が有効か無効かは、防具に付けた電子センサーが機械的に判定する。試合はポイント制で、攻撃の種類や当たった部位によってポイントが異なる。

写真:ロイター/アフロ

サーフィン

東京2020オリンピックで初めて正式競技として採用された。制限時間内で同時に複数の選手が対戦し、勝敗を決定する。良い波を見極め、難易度の高いターンやエアリアル(空中に舞い上がる技)を繰り出すことで高得点を獲得することができる。

写真:AP/アフロ